

研究テーマ

西濃地域の活性化及び魅力開拓・発信の拡充

～訪問してよし 住んでよし 楽しめてよし～

岐阜県立大垣商業高等学校

大垣商業高校ってどんな学校ですか？

「士魂商才」を伝統訓とし、今年度で創立120年目の県内で最も歴史のある商業高校として、多くの卒業生を西濃地域をはじめ、日本全国に送り出している専門高校です。

部活動や生徒会活動に積極的に取り組んでおり、明るく活力のある学校です。部活動は、全国大会や東海大会に出場する多くの運動系部活動と文化系部活動があるのが特徴です。

地域や企業の皆さんと連携した学習を通して、地域理解を深め、地域を担う人材育成を目指します。



この研究テーマを選んだ理由は・・・

西濃地域には、私たちが通学でも利用するJR東海・養老鉄道・樽見鉄道の3つの鉄道があります。その中で地域鉄道である養老鉄道・樽見鉄道は、通勤・通学利用者がほとんどであり、観光を目的とした利用者が年々減少している状況です。

そのため私たちの取り組みを通して、西濃地域の特に養老鉄道・樽見鉄道を利用した観光客の増加に結び付けることができないかと考え、このテーマを選びました。

取り組んだ内容とその成果と課題は・・・

○地元企業と連携した養老鉄道・樽見鉄道利用者向けの弁当開発と販売実習 (総合ビジネス科・情報科)

◇地元企業と連携し、地元食材を活用した両鉄道利用者向けの弁当(2商品)を開発し、養老鉄道養老駅、樽見鉄道本巣駅の販売実習を行い、地域活性化につなげることができました。



販売実習風景

◇世界的に取り組まれているSDGs(持続可能な開発目標)

【8 働きがいも経済成長も】、【11 住み続けられるまちづくり】の視点も踏まえた取り組みとし、11月に大垣公園にて開催されたSDGs体験イベントにて本校の取り組みを発表することができました。

◆養老鉄道・樽見鉄道を利用した観光客の増加に結び付けるため、SNSを利用した更なるPR方法を考えることが必要です。

○実地調査を生かした西濃地域のPRホームページ・動画・マップ制作 (総合ビジネス科)

◇養老鉄道養老駅、樽見鉄道樽見駅、JR関ヶ原駅周辺の実地調査を行い、駅周辺をPRするホームページ・動画・マップ制作を行い、地域理解を深めました。

実践をとおして学んだことは・・・

- ・西濃地域には地域資源が多くあり、その魅力を理解し発信する活動を通して、地域の課題を解決し、地域活性化につながることを学びました。